

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立鳥取聾学校

学校長 秋田 易子

評価日	令和6年2月29日（木）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ・保護者アンケート結果について、「お子さんは、自分のよいところに気づいていますか」の回答が、「気づいている」は半数もない。子どもへの言葉かけや励ましをシャワーのように浴びせていくことが大事である。 2 目標達成のための取組結果について ・今年度の大学進学実績を踏まえ、聾学校で学ぶことにより大学に進学できる力がつくことを発信して欲しい。 3 具体目標の達成状況について ・生活安全部の評価が中間評価より下がったのはなぜか。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ・支援部の研修パッケージは、分かりやすく外部に説明するのには非常に良いと思う。 5 その他	・各学部で、子どもの自己肯定感の高まりをめざし、様々な体験活動ができるように学習活動を設定している。成功体験を積むだけでなく、自分の課題を理解し、目標をもって学習活動に取り組む姿勢を育成していきたい。 ・進路に関する情報提供や、職場体験、学校訪問、近隣高校との進学に向けての連携など、進路実現に向けて取り組んだ内容を積極的に発信していきたい。 ・生活安全部は、幅広い業務を行った。業務遂行の中で様々な気づきがあり、課題が多数浮かび上がってきた。もっとできるのではないかという意味でC評価とした。 ・今年度、5つの研修パッケージを作成し、地域にオンデマンドで発信するための準備が整った。今後もセンター的機能充実に向けた取組を続けていきたい。